

第3号様式（第4条、第20条関係）（付表5）（用紙 日本産業規格A4縦長型）

窒素酸化物の排出量明細書（ガスタービン、ディーゼルエンジン及びガスエンジンに限る。）

1 ガスタービン、ディーゼルエンジン及びガスエンジンに係る窒素酸化物の排出量の許容限度等

施設の番号及び記号	① 窒素酸化物の排出量の許容限度 $Q_i$ (Nm <sup>3</sup> /h) [ $\frac{②}{10^6} \times ③$ ]	② 係数 $C_i$	③ 定格能力運転時の乾き排出ガス量（標準酸素濃度換算） $V$ (Nm <sup>3</sup> /h) [ $\frac{21-④}{21-O_n} \times ⑤$ ]	④ 定格能力運転時の乾き排出ガス中の酸素濃度 $O_i$ (%)	⑤ 定格能力運転時の乾き排出ガス量 $V_i$ (Nm <sup>3</sup> /h)
GT-01	4.58	20	229,000	15	190,833
「 $O_i$ 」とは、各施設を定格能力で運転する場合の乾き排出ガス中の酸素の濃度(単位 百分率)をいいます。ただし、当該酸素の濃度が20パーセントを超える場合にあつては、20パーセントとします。					

2 ガスタービン、ディーゼルエンジン及びガスエンジン別の窒素酸化物の排出量等

施設の番号及び記号	⑥ 窒素酸化物の排出量 $Q$ (Nm <sup>3</sup> /h) [ $\frac{⑦}{10^6} \times ③$ ]	⑦ 窒素酸化物の排出濃度 $C$ (ppm) [ $\frac{21-O_n}{21-⑧} \times ⑧$ ]	⑧ 乾き排出ガス中の窒素酸化物濃度 $C_s$ (ppm)	⑨ 乾き排出ガス中の酸素濃度 $O_s$ (%)
GT-01	2.86	12.5	15	15

- 備考 1 「 $Q_i$ 」、「 $C_i$ 」、「 $V$ 」、「 $O_i$ 」、「 $V_i$ 」、「 $Q$ 」、「 $C$ 」、「 $C_s$ 」、「 $O_s$ 」及び「 $O_n$ 」とは、別表第3の3に定める $Q_i$ 、 $C_i$ 、 $V$ 、 $O_i$ 、 $V_i$ 、 $Q$ 、 $C$ 、 $C_s$ 、 $O_s$ 及び $O_n$ をいいます。
- 2 定格能力運転時の乾き排出ガス量、窒素酸化物の排出濃度及び乾き排出ガス中の酸素濃度の根拠を明らかにする書類を添付してください。

「 $O_n$ 」とは、次の表の左欄に掲げる施設について同表の右欄に掲げる数値とする。

施設	$O_n$
ガスタービン	16
ディーゼルエンジン	13
ガスエンジン	0

「 $O_s$ 」とは、オルザットガス分析装置を用いる吸収法又はこれと同等の測定値が得られる酸素濃度分析装置を用いる方法により測定された排出ガス中の酸素の濃度(単位 百分率)をいいます。ただし当該酸素の濃度が20パーセントを超える場合にあつては、20パーセントとします。

「Ci」とは、施設の種類及び規模に応じ、次の表に定める係数をいいます。

横須賀市の区域

施設の種類	施設の規模	Ci (係数)		
		平成4年4月1日前に設置された施設 (同日前から設置の工事がされているものを含む。)	平成4年4月1日以後平成7年10月1日前に設置された施設 (同日前から設置の工事がされているものを含む。)	平成7年10月1日以後に設置された施設
ガスタービンのうちガスを専焼させるもの	定格出力2,000kw未満のもの	50	35	35
	定格出力2,000kw以上100,000kw未満のもの	35	25	20
	定格出力100,000kw以上150,000kw未満のもの	35	25	15
	定格出力150,000kw以上のもの	35	25	10
ガスタービンのうちガスを専焼させるもの以外のもの	定格出力2,000kw未満のもの	60	35	35
	定格出力2,000kw以上100,000kw未満のもの	50	25	20
	定格出力100,000kw以上150,000kw未満のもの	50	25	15
	定格出力150,000kw以上のもの	50	25	10
ディーゼルエンジン		190	110	110
ガスエンジン		300	200	200

ガスタービン又はディーゼルエンジンにあっては、重油以外の燃料の重油の量への換算方法

種類	重油10リットルに相当する量
液体燃料	10ℓ
ガス燃料 (液化石油ガス)	16Nm <sup>3</sup> (16kg)
固体燃料	16kg

ガスエンジンにあっては、重油以外の燃料の重油の量への換算は気体燃料は次の換算式により算出し、液体燃料は10リットルが重油10リットルに相当するものとして算出します。この場合において、当該換算式中気体燃料の発熱量は、総発熱量を用いることとし、重油の発熱量は40,186.08kJとします。

重油換算量(ℓ/h) = 換算係数 × 気体燃料の燃焼能力(Nm<sup>3</sup>/h)

換算係数 = 気体燃料の発熱量(kJ/Nm<sup>3</sup>) ÷ 重油の発熱量(kJ/ℓ)